

10月のびんぐら

豊穣の秋 新米

9月30日、役場追分庁舎でJAとまこまい広域から「たんとうまい（ななつぼし）」の新米100kgが寄贈されました。

全道的に豊作となった今年は、たんとうまいの生産地である胆振東部3町（安平町・厚真町・むかわ町）でも豊作、品質も大変良いとのこと。今回寄贈いただいた新米は、町内の子ども達に給食で振舞われる予定です。



見て・動いて・楽しむ

10月4日、乳幼児を対象とした生涯学習フェスティバル事業「あそびのひろば」が早来公民館で開催され159名の親子が参加。

人形劇団「えりっこ」による人形劇が披露されたほか、木のプールやミニアスレチックが用意されたコーナーでは、元気いっぱい遊ぶ子ども達の姿が見られ、保護者の方からも「楽しい行事で子どもも満足している」との声を聞くことができました。

来年、収穫できるかな？

10月9日、早来ライオンズクラブの皆さんと早来小1、2年生による植樹が行われました。3か年計画の最後となった今年は、「実のある学校生活を」との思いを込めてハスカップの苗木を30本用意。

児童たちは、シヨベルを片手に根本にかぶせてある土を手で優しく丁寧に固め、「たくさん実が成るといいね」「早く食べたいね」と話しながら、ハスカップの成長を心待ちにしているようでした。



秋晴れの午後

透き通るハーモニー

10月18日、追分公民館ロビーを会場に、追分ひまわりコーラスコンサートが開催されました。

童謡やアニメソング、唱歌など4部構成で全21曲を披露。恒例の「みんなで歌おう」では、約80名の来場者と懐かしい曲や手を叩く動きのある曲などで交流する場面も見られ、訪れていた子どもたちから「楽しかった」との声も聞かれ歌の楽しさを満喫したひと時を過ごしました。



SLに沸いた1日

10月12日、安平町鉄道資料館の特別開館が行われ町内外から300人ほどが来場。保管されている実車のSL「D51・320」を目当てに来場された方も多く、感慨深げに視線を送る人や記念撮影をして楽しむ人がSLを囲みました。

この日初めて来館されたという千歳市の方は、「SLの保存状態の良さに驚いた。走行していた頃が懐かしい。」と、昔を懐かしむ声を聞くことができました。

